

次の世代まで伝えていこう 平和への願い



千羽鶴を折る中台中学校の生徒

市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い、2つの平和都市宣言を行っています。また、平和のシンボルである折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」や戦争体験を伝える活動を実施しています。

8月15日は、戦争で亡くなられた方々を追悼し平和を祈念する日です。この日を「平和を誓う日」として私たちの心にとどめ、改めて平和の大切さを考え、戦争の恐ろしさ・悲惨さを次の世代に伝えていきたいと思います。

平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾(原爆)は、一瞬にして多くの人の命を奪い去りました。

世界各地では、現在も紛争や国際テロが発生しています。また、核兵器の保有を続ける国があるなど、依然として核兵器の大きな脅威が存在します。

市は、非核三原則(日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込ませ

ず)が完全実施されることを願い、平成7年2月21日に「非核平和都市宣言」をしました。

また、戦争の悲劇を忘れず、二度と繰り返すことのないよう、世界の恒久平和への願いを込め、自ら永遠の平和都市となることを決意し、昭和33年10月31日に「世界連邦平和都市宣言」をしています。

戦争体験を伝える活動

戦争体験集の発刊

市では、二度と繰り返してはならない戦争のことを正しく知ってもらうため、昭和63年8月に、戦争体験集「今だからこそ 私たちの戦争体験記」を発刊しました。

この体験集は、それぞれ異なる場所や立場で戦争を経験された市民の皆さんから寄せられた体験がつづられています。改めて戦争の

悲惨さ、平和の尊さを感じられる貴重な資料です。

「今だからこそ 私たちの戦争体験記」は、市ホームページ(<https://www.city.narita.chiba.jp/shisei/index0709.html>)で公開しているほか、市立図書館でも貸し出しています。

紙芝居「ねむの花に祈る」DVDの貸し出し

「ねむの花に祈る」は、学生の時に千葉市で空襲を受けた市内在住の日暮淑さん(ひぐりたけ)の体験を紙芝居にしたものです。この紙芝居のDVDを文化国際課(市役所4階)で貸し出しています。また、YouTube(<https://youtube.com/KRKSXZKBA>)でも視聴できます。

折り鶴平和プロジェクト

市では、市民が手作りした折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を平成21年から実施しています。

これまでに市に寄せられた折り鶴は約143万7,000羽に達しました。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年市内の中学生が作成した折り鶴を千羽鶴にして届けます。

原爆写真ポスター展

平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原爆投下直後の惨状を記録した写真ポスターを展示します。

日時＝8月18日(水)～9月1日(水) 午前9時～午後9時
会場＝もりんぴあこづつ

戦争の悲惨さを伝える「原爆の図」展

画家の丸木位里・俊夫妻の作品を展示し、原爆の被害の実態と平和の尊さ、核の廃絶を訴えます。

「原爆の図」は15部で構成され、皮膚が溶けた人の群れが爆心地をさまよう「幽霊」から始まり、同じ悲劇が繰り返された「長崎」で終わります。

今回は、第1部の「幽霊」・第4部の「虹」の原寸大複製画、第6部の「原子野」・第7部の「竹やぶ」・第8部の「救出」・第11部の「母子像」の大パネルを展示します。

また、原爆の図 丸木美術館学芸員の岡村幸宣さんを講師にギャラリートークとトークショーを開催します。

日時＝8月15日(日)まで(2日(月)・10日(火)を除く) 午前9時～午後5時
会場＝スカイタウンギャラリー
ギャラリートーク

日時＝8月14日(土) 午前11時から
定員＝15人(先着順)

参加費＝無料
申込方法＝文化芸術センター(☎20-1133、2日(月)、10日(火)は休館)へ
トークショー

日時＝8月14日(土) 午後2時から
会場＝スカイタウンホール

定員＝120人(先着順)
参加費＝無料
参加方法＝当日直接会場へ

折り鶴平和使節団

市では、折り鶴平和プロジェクトの一環として、市内中学校の代表生徒で結成される「成田中学生折り鶴平和使節団」を被爆地へ派遣しています。

今年度は広島を訪問します。団員たちは、実際に被爆地を訪れ、平和学習プログラムへ参加するな

どの貴重な体験を通して、平和の尊さ、戦争の悲惨さ、核廃絶の必要性を学びます。

派遣後は、その貴重な体験を、同じ学校の生徒をはじめ多くの市民の皆さんに広め、平和に対する意識を育み、後世に伝えていくことが期待されます。

※くわしくは文化国際課(☎20-1534)へ。

被爆樹木二世の植樹

今年度開校した義務教育学校・大栄みらい学園の校庭に広島の被爆樹木二世である「アオギリ」の苗木の植樹を行いました。

このアオギリは、被爆の惨禍に遭いながらも再び芽を吹き、「平和のシンボル」として広島市民に生きる勇気と希望を与えてきました。その親木の種から発芽した二世の苗木が、唯一の被爆国である日本の将来を担う子どもたちに平和の大切さを実感してもらい、核兵器のない未来に向けて平和への思いをつないでもらえるよう、力強く根をはって行くことを願います。



関係者と学校代表による植樹

成田市中学生折り鶴平和使節団団員紹介



今年度の団員の皆さん

- 鈴木 杏慈さん(成田中学校)
- 平野 咲幸さん(遠山中学校)
- 太野 沙耶さん(久住中学校)
- 大柄 捺希さん(西中学校)
- 宮崎 颯良さん(中台中学校)
- 青木 琉希弥さん(吾妻中学校)
- 加藤 ひなたさん(玉造中学校)
- 野口 千晶さん(公津の杜中学校)
- 八木 結月さん(大栄みらい学園)
- 平山 開清さん(成田高校付属中学校)